

令和4年度文部科学省委託事業
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

留学生に関する 実態把握アンケート調査報告書

海外教育機関在籍学生対象

令和5年1月調査

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

◇調査方法

調査対象：ベトナム現地の高等学校・大学・短期大学・日本語教育機関在籍の日本語教育を受けている学生

調査方法：アンケート調査（インターネット調査・アンケート用紙の配布）

調査期間：2022年11月～2023年1月上旬

回答数：774

◇INDEX

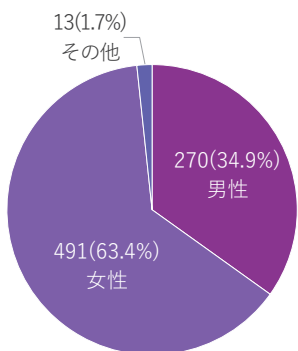
P02	1. 調査概要／INDEX
P03	2. 回答者属性
P04	3. 本調査
P04	1-1 日本語学習のきっかけ
P06	1-2 日本語学習の最終目的
P07	1-3 日本語能力テストの受験状況
P08	1-4 日本語学習の方法
P09	1-5 留学先の候補
P10	1-6 留学先選択の条件
P11	1-7 留学先での専攻希望分野
P12	2-1 日本のイメージ
P13	2-2 関心がある日本文化
P14	2-3 日本についての情報収集手段
P15	3-1 進路についての情報収集手段
P16	3-2 将来の希望
P17	3-3 専門学校の認知度
P18	4-1 日本の学校に期待する情報やサポート

2 回答者属性



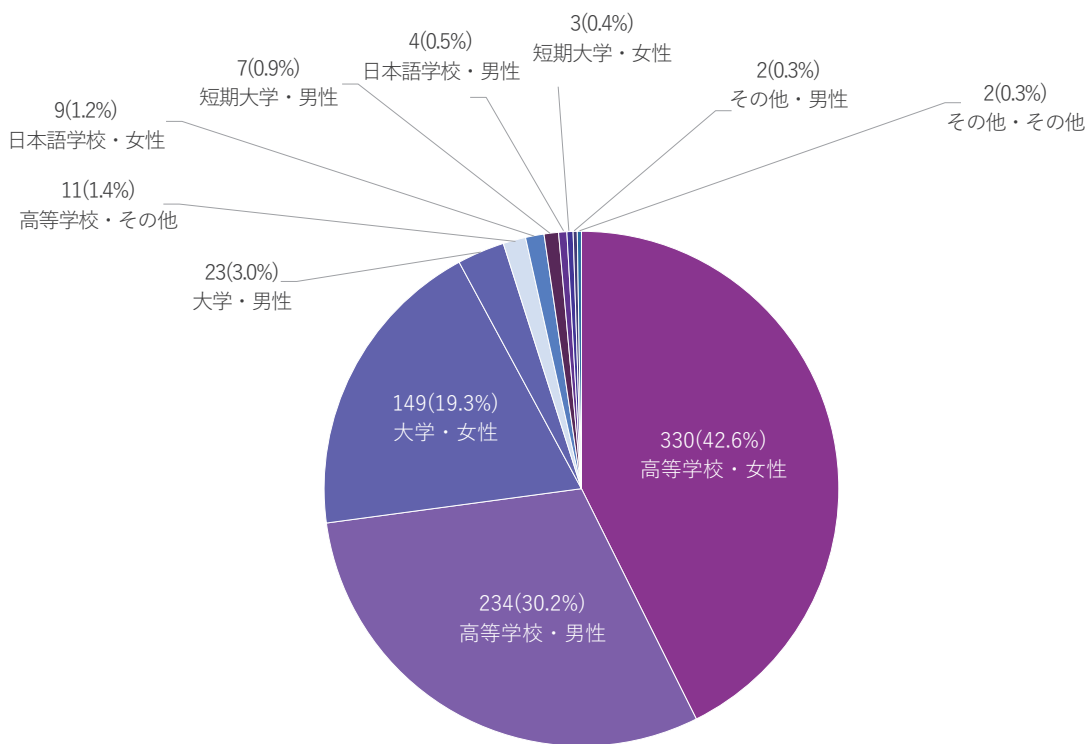
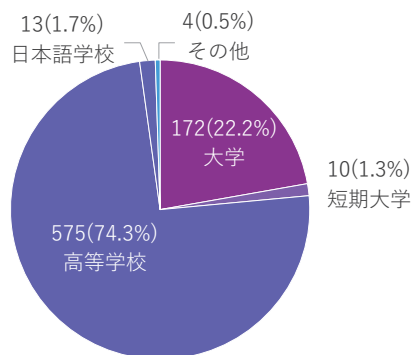
◇性別

回答数：774件



◇現在在籍している学校の種別

回答数：774件

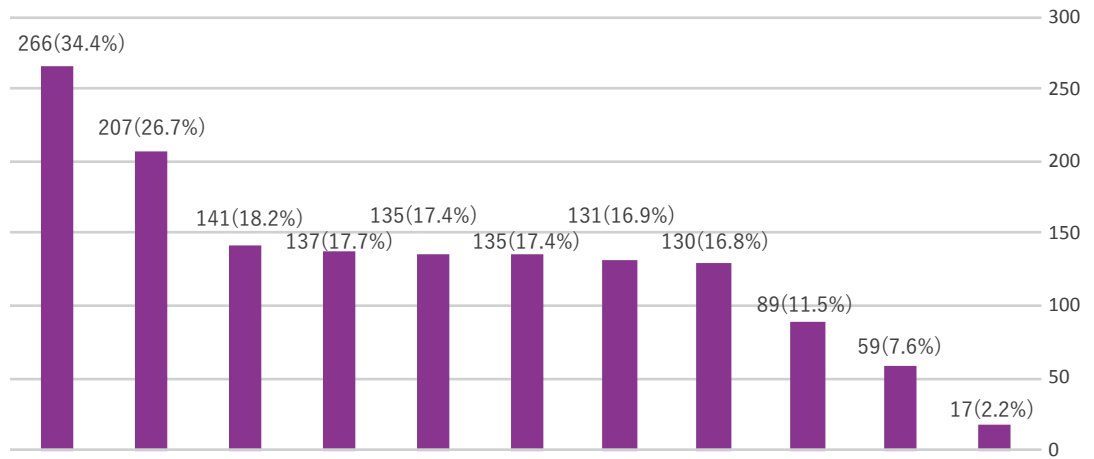


		在籍数					総計
		大学	短期大学	高等学校	日本語学校	その他	
性別	男性	23	7	234	4	2	270
		3.0%	0.9%	30.2%	0.5%	0.3%	34.9%
	女性	149	3	330	9	0	491
		19.3%	0.4%	42.6%	1.2%	0.0%	63.4%
	その他	0	0	11	0	2	13
	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.3%	1.7%	
総計	172	10	575	13	4	774	
	22.2%	1.3%	74.3%	1.7%	0.5%	100.0%	

2 回答者属性

◇今の学校を卒業した直後の希望進路(複数回答可)

回答数：774件



		ベトナムの大学・短期大学に進学したい	ベトナムで働きたい	日本の大学・短期大学に進学したい	日本で働きたい	日本の日本語学校に進学したい	日本の大学院に進学したい	日本の専門学校に進学したい	ベトナムの大学院に進学したい	ベトナム・日本以外の国で進学したい	ベトナム・日本以外の国で働きたい	その他	
総計	(n=774)	34.4%	26.7%	18.2%	17.7%	17.4%	17.4%	16.9%	16.8%	11.5%	7.6%	2.2%	
性別	男性	(n=270)	38.9%	15.9%	20.0%	11.9%	21.5%	18.1%	21.1%	16.7%	12.6%	8.1%	1.1%
	女性	(n=491)	31.2%	33.2%	17.7%	21.4%	15.5%	17.5%	15.1%	17.1%	11.0%	7.3%	2.4%
	その他	(n=13)	61.5%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%
在籍学校種別	大学	(n=172)	5.8%	66.3%	15.1%	49.4%	15.1%	29.7%	6.4%	15.1%	5.8%	8.1%	0.6%
	短期大学	(n=10)	20.0%	20.0%	30.0%	0.0%	30.0%	10.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	高等学校	(n=575)	43.5%	15.3%	19.3%	8.3%	18.3%	13.9%	19.7%	17.4%	13.7%	7.5%	2.3%
	日本語学校	(n=13)	30.8%	23.1%	7.7%	30.8%	7.7%	23.1%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%

- ・男性最多は「ベトナムの大学・短期大学に進学したい」で38.9%。
日本の専門学校、各種学校への進学希望も女性よりも男性に多い傾向がある。
- ・女性最多は「ベトナムで働きたい」で33.2%。「日本で働きたい」と考える割合が男性より多い。
- ・大学生の上位回答は「ベトナムで働きたい(66.3%)」「日本で働きたい(49.4%)」「日本の大学院に進学したい(29.7%)」。他、「日本の専門学校に進学したい(6.4%)」「日本の日本語学校(15.1%)」となっている。
- ・高校生の上位回答は「ベトナムの大学・短期大学に進学したい(43.5%)」が最も多く、次いで「日本の専門学校に進学したい(19.7%)」「日本の大学・短期大学に進学したい(19.3%)」とほぼ同数。

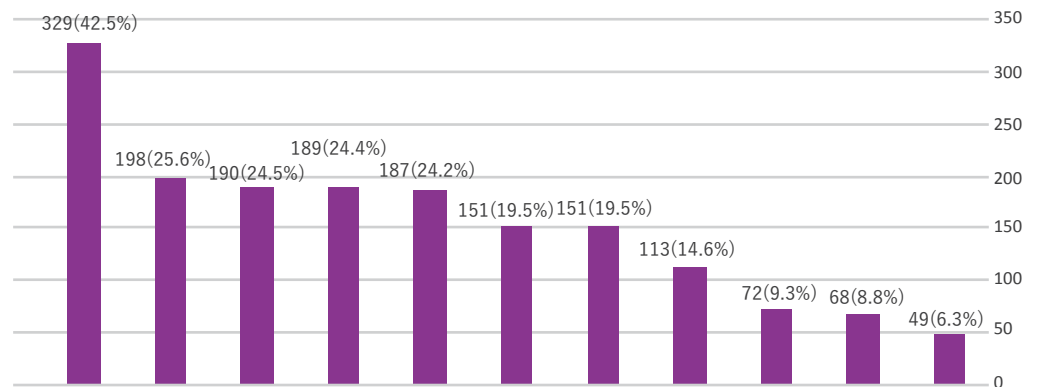
1-1 日本語学習のきっかけ

大専各としては、今回初めて「ベトナム現地にいる日本語学習者」に対してアンケートを実施した。日本語学習のきっかけをたずねたところ、「将来の仕事・就職に役立てるため」が42.5%で最多。続く「日本に観光旅行するため(25.6%)」「日本に留学するため(24.5%)」「日本のポップカルチャー(アニメ・マンガ・ファッション・J-POP)に興味があるため(24.4%)」「今の仕事や学校で日本語でのコミュニケーションが必要(24.2%)」等到大差をつけており、将来の就労に結び付けることを見据えて学習を始めた層が多いことが分かる。特に大学生の回答率は78.5%となっており、その傾向がより顕著であった。

次項「1-2 日本語学習の最終目的」の上位が「現在の学校を卒業後、自国での就職に役立てるため(24.8%)」「日本の文化を楽しむため(24.8%)」となっていることにも関連している印象がある。

◇日本語学習のきっかけ・動機を教えてください(複数回答可)

回答数：774件



		将来の仕事・就職に役立てるため	日本に観光旅行するため	日本に留学するため	日本のポップカルチャー(アニメ・マンガ・ファッション・J-POP)に興味があるため	今の仕事や学校で日本語でのコミュニケーションが必要	日本の歴史・文化・芸術などに興味があるため	家族、親族、友人からすすめられたため	日本の政治・経済・社会に興味があるため	日本語を使つての受験や資格取得	日本の科学・技術への興味があるため	その他	
総計	(n=774)	42.5%	25.6%	24.5%	24.4%	24.2%	19.5%	19.5%	14.6%	9.3%	8.8%	6.3%	
性別	女性	(n=491)	46.8%	25.7%	26.5%	26.7%	24.8%	21.8%	17.7%	15.1%	9.6%	8.8%	6.9%
	男性	(n=270)	36.7%	25.9%	22.2%	20.4%	24.1%	15.9%	23.7%	14.4%	9.3%	8.9%	3.0%
	その他	(n=13)	0.0%	15.4%	0.0%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	53.8%
在籍学校種別	大学	(n=172)	78.5%	30.2%	34.9%	43.6%	33.7%	39.0%	16.9%	13.4%	16.3%	11.0%	0.6%
	短期大学	(n=10)	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	10.0%	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	高等学校	(n=575)	32.0%	24.0%	22.1%	18.4%	20.9%	13.6%	20.0%	14.8%	6.8%	8.0%	8.0%
	日本語学校	(n=13)	53.8%	38.5%	7.7%	38.5%	38.5%	38.5%	7.7%	23.1%	15.4%	7.7%	0.0%
	その他	(n=4)	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%

1-2 日本語学習の最終目的

日本語学習の最終目的は「現在の学校を卒業後、自国での就職に役立てるため(24.8%)」、「自国の大学・短期大学に進学するため(20.7%)」とあるように、自国での進学や就職を目的としている回答が一定数あり、ベトナム現地においても日本語が話せる人材が必要であることが伺える。また「日本の文化を楽しむため(24.8%)」「国際理解・異文化交流のため(20.8%)」等、進学・就職・留学等の要素を含まない学習目的の回答も、前項とほぼ近い回答率であった。

在籍学校種別にみると、大学生は「現在の学校を卒業後、自国での就職に役立てるため(66.9%)」が最多で、総計より40%以上高い回答率であった。高校生は「自国の大学・短期大学に進学するため(24.7%)」が最多である一方、「日本の大学・短期大学に留学するため(21.4%)」「日本の大学・短期大学に留学し、日本で就職するため(19.1%)」「日本の専門学校に留学するため(17.6%)」と日本留学を意識した回答も20%前後みられた。

◇日本語学習の最終目的を教えてください(複数回答可)

回答数：774件



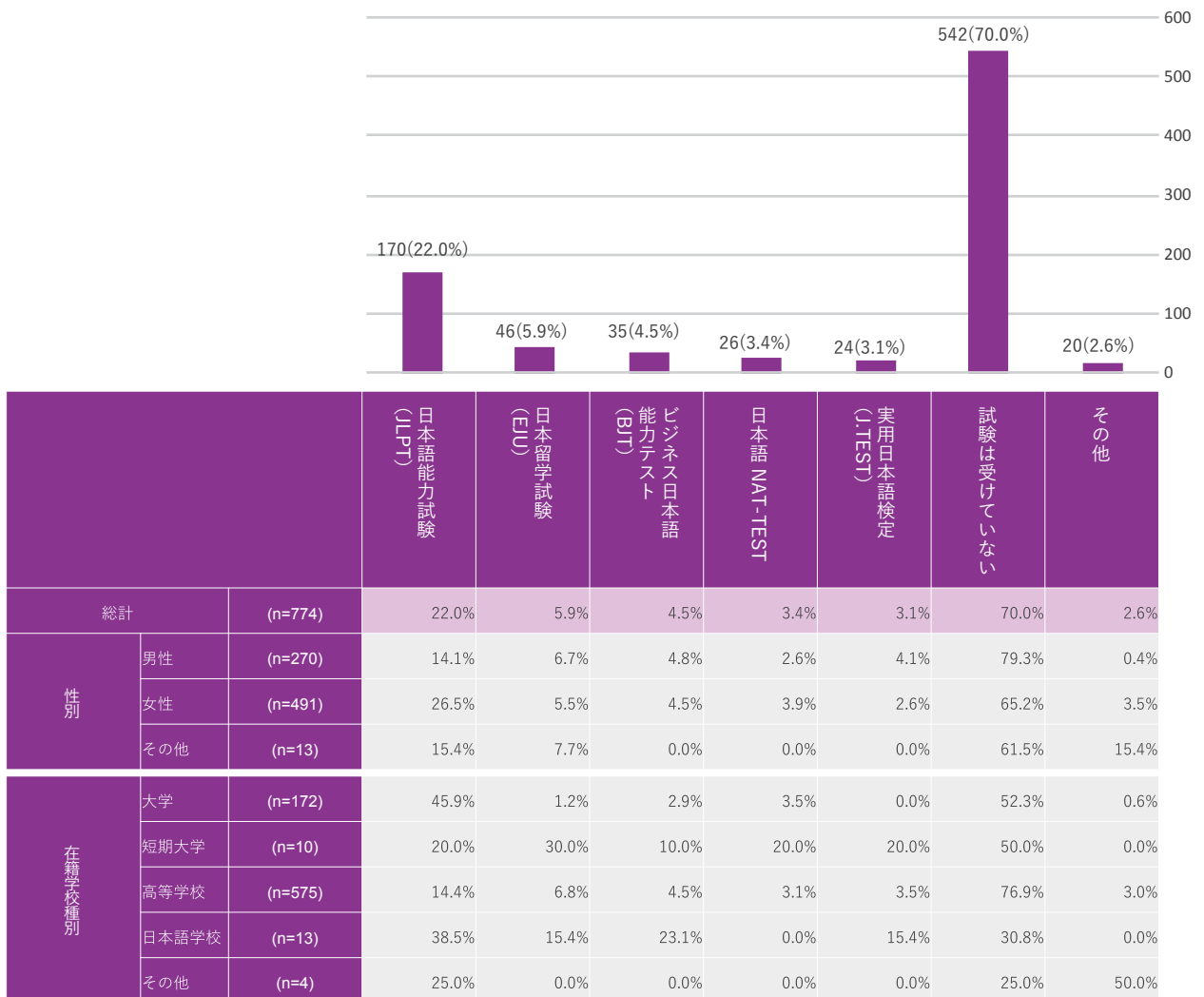
1-3 日本語能力テストの受験状況

日本語能力を測るために受験した、または受験予定のテストについては、「試験は受けていない」が最多で70.0%。最も受験されている試験は「日本語能力試験(JLPT)」で22.0%だった。大学入試の準備のために受験が必要であることが多い「日本留学試験(EJU)」を選択した人は5.9%であることから、ベトナム現地では大学進学よりも専門学校進学志望者が多い、もしくは、必ずしも進学目的のために日本語能力を測っているわけではないと推察できる。

在籍学校種別でみると、大学生は45.9%と約半数が「日本語能力試験(JLPT)」を受験している。一方高校生の受験率は14.4%に留まっており、「試験を受けていない(76.9%)」が高い割合となっている。

◇日本語能力を測るため、受験したことがある、
または受験を予定しているテストを選んでください。(複数回答可)

回答数：774件



3 本調査

1-4 日本語学習の方法

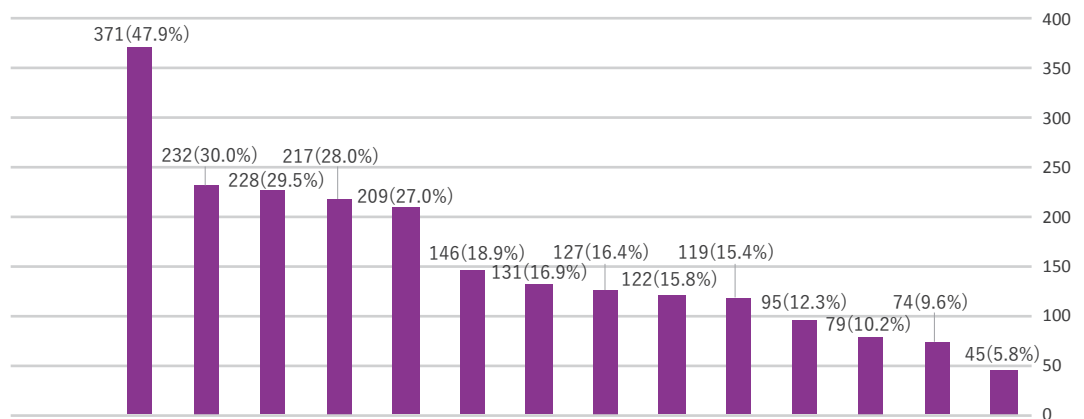
どのように日本語を勉強しているかについては「学校の授業のみ」が47.9%と半数近くを占める結果となり、続いて「日本語教材(テキスト)(30.0%)」「アニメ(29.5%)」「映画・ドラマ(28.0%)」「日本語教材(オンライン)(27.0%)」等が多い結果となった。

大学生は「学校の授業」を重視している人が多い結果となっているが、高校生では「学校の授業」とその他の選択肢で大きな差は見られなかった。

備考：大学生は86.6%「学校の授業のみ」と回答してるが、他の選択肢の回答率も高い。選択肢の意図が伝わっていなかった可能性が高い

◇どのように日本語を勉強していますか(複数回答可)

回答数：774件



		学校の授業のみ	日本語教材(テキスト)	アニメ	映画・ドラマ	日本語教材(オンライン)	スマートフォンの日本語学習アプリ	TV・ラジオ	マンガ(本・雑誌)	YouTubeなどの動画で自習	ゲーム	音楽(J-POP)	ベトナム人から教える友人・知人	日本人の友人・知人から教えてもらう	その他
総計 (n=774)		47.9%	30.0%	29.5%	28.0%	27.0%	18.9%	16.9%	16.4%	15.8%	15.4%	12.3%	10.2%	9.6%	5.8%
性別	男性 (n=270)	36.7%	26.7%	31.9%	29.3%	27.0%	14.4%	20.0%	19.6%	13.0%	20.7%	9.6%	9.3%	11.1%	3.7%
	女性 (n=491)	54.8%	32.4%	27.9%	27.3%	27.7%	21.6%	15.5%	14.3%	17.5%	12.4%	13.6%	11.0%	9.0%	6.1%
	その他 (n=13)	23.1%	7.7%	38.5%	30.8%	0.0%	7.7%	7.7%	30.8%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	38.5%
在籍学校種別	大学 (n=172)	86.6%	58.1%	30.2%	34.3%	42.4%	37.2%	16.3%	14.5%	36.0%	9.9%	16.9%	11.6%	7.0%	0.6%
	短期大学 (n=10)	40.0%	60.0%	40.0%	30.0%	40.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	高等学校 (n=575)	36.7%	21.0%	28.7%	26.6%	21.9%	13.7%	16.7%	17.0%	9.6%	17.2%	11.3%	9.7%	10.4%	7.3%
	日本語学校 (n=13)	38.5%	30.8%	38.5%	15.4%	38.5%	15.4%	38.5%	23.1%	30.8%	7.7%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%
	その他 (n=4)	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

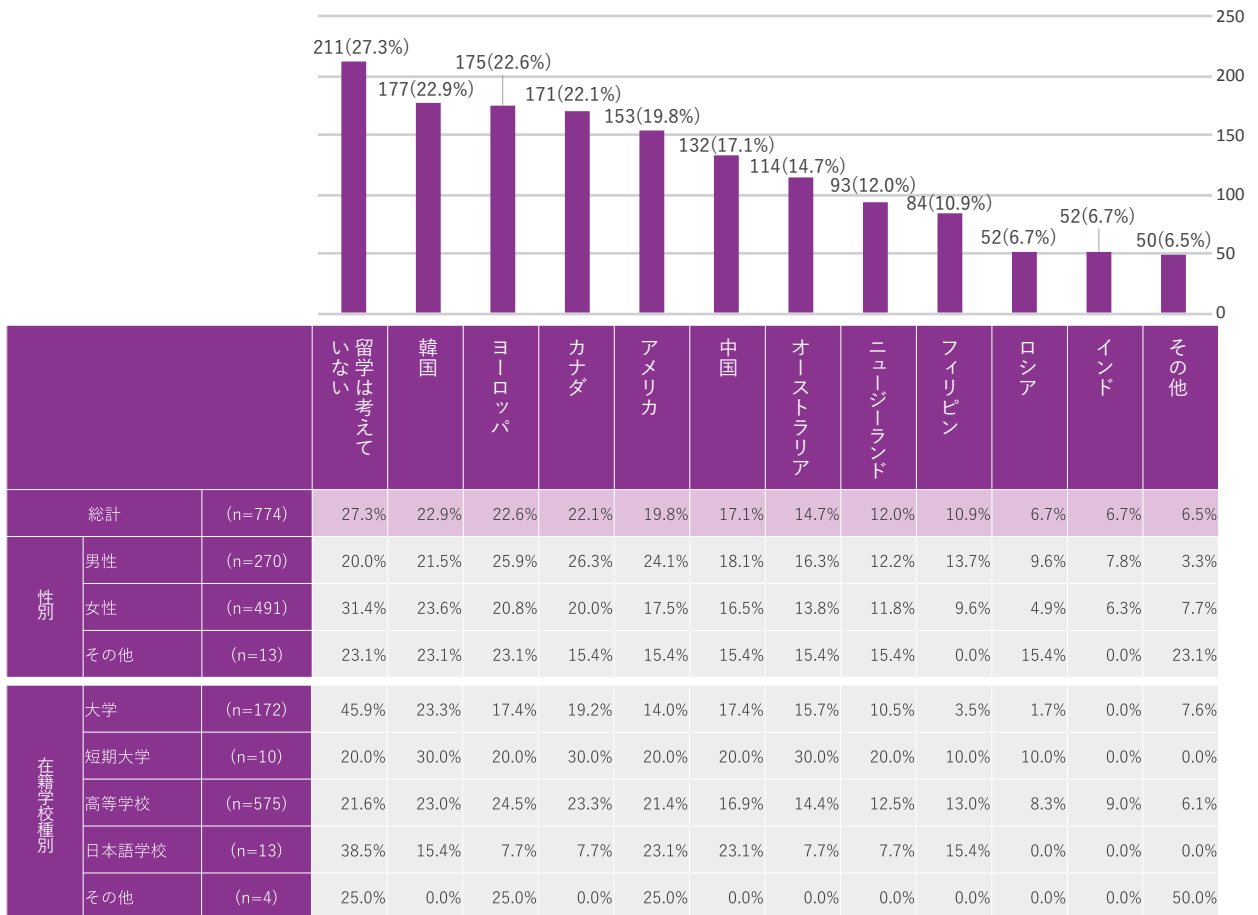
1-5 留学先の候補

日本のほかに留学先の候補にしている国があるかたずねた。「留学は考えていない」が最も多く、27.3%。日本語を学んでいるが具体的に留学までは検討していない層が一定数いることがわかる。続いて、「韓国(22.9%)」「ヨーロッパ(22.6%)」「カナダ(22.1%)」となった。

在籍学校種別でみると、大学生は半数近くが「留学は考えていない(45.9%)」と回答。一方高校生は留学を考えている人が大学生より高い割合で存在しており「ヨーロッパ(24.5%)」「カナダ(23.3%)」「韓国(23.0%)」等が日本以外の留学先候補として多く検討されることが分かった。また、3割を超える女性が留学を考えないものの、「韓国」を候補に挙げているのは女性の方が多く、男性は女性よりも「カナダ」「ヨーロッパ」「アメリカ」の順に候補先として挙げている。

◇日本のほかに、留学先の候補はありますか?(複数回答可)

回答数：774件



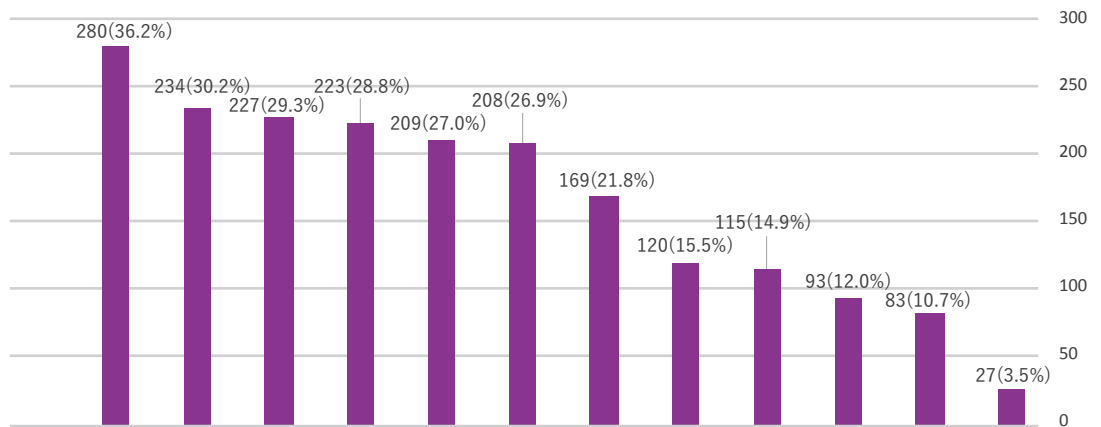
1-6 留学先選択の条件

留学するとしたら何を優先するかについては、36.2%が「賃金(将来働くため)」と回答、「地域文化(30.2%)」「治安(29.3%)」「物価・費用(28.8%)」「学びの専門性(27.0%)」「将来の仕事に役立つスキル取得(26.9%)」が続いた。一方で、「気候」「交通の利便性」「都会か田舎か」「時差」といった環境面の優先度は低い。

特に大学生は「物価・費用(62.8%)」「賃金(将来働くため)(56.4%)」「将来の仕事に役立つスキル取得(52.9%)」等、金銭面の優先順位が高いことがわかる。

◇留学するとしたら、何を優先しますか?(複数回答可)

回答数：774件



		賃金(将来働くため)	地域文化	治安	物価・費用	学びの専門性	将来の仕事に役立つスキル取得	地域からの支援	気候	交通の利便性	都会か田舎か	時差	その他	
総計	(n=774)	36.2%	30.2%	29.3%	28.8%	27.0%	26.9%	21.8%	15.5%	14.9%	12.0%	10.7%	3.5%	
性別	男性	(n=270)	29.3%	31.1%	25.9%	23.7%	28.9%	20.4%	20.0%	15.9%	15.2%	14.4%	13.7%	1.5%
	女性	(n=491)	40.1%	30.1%	32.0%	32.4%	26.1%	30.8%	23.4%	15.5%	14.9%	11.0%	9.2%	4.1%
	その他	(n=13)	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	15.4%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	23.1%
在籍学校種別	大学	(n=172)	56.4%	38.4%	42.4%	62.8%	40.1%	52.9%	33.7%	15.7%	12.2%	7.6%	7.0%	1.2%
	短期大学	(n=10)	30.0%	0.0%	20.0%	40.0%	60.0%	10.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%	30.0%	0.0%
	高等学校	(n=575)	30.4%	28.5%	25.9%	18.4%	22.4%	19.1%	18.1%	15.8%	15.5%	13.6%	11.5%	4.0%
	日本語学校	(n=13)	30.8%	30.8%	15.4%	23.1%	30.8%	38.5%	30.8%	7.7%	23.1%	15.4%	15.4%	0.0%
	その他	(n=4)	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1-7 留学先での専攻希望分野

留学するとしたらどのような分野を専攻したいかについては「ビジネス・語学系」が31.5%で最も多く、「コンピュータ・マルチメディア系(22.1%)」「教育・福祉系(19.4%)」と続いた。

在籍学校種別でみると「ビジネス・語学系」の希望者は大学生では7割を超え、人気が高いことが伺える。一方、高校生の回答はおおむね均一的。

男性の回答比率が高いのは「コンピュータ・マルチメディア系」「工業系」「スポーツ・健康系」など、女性の回答は「ビジネス・語学系」「マスコミ・音楽系」「ファッション系」などが高い傾向となっている。

◇留学するとしたら、専攻したい分野は何ですか?(複数回答可)

回答数：774件



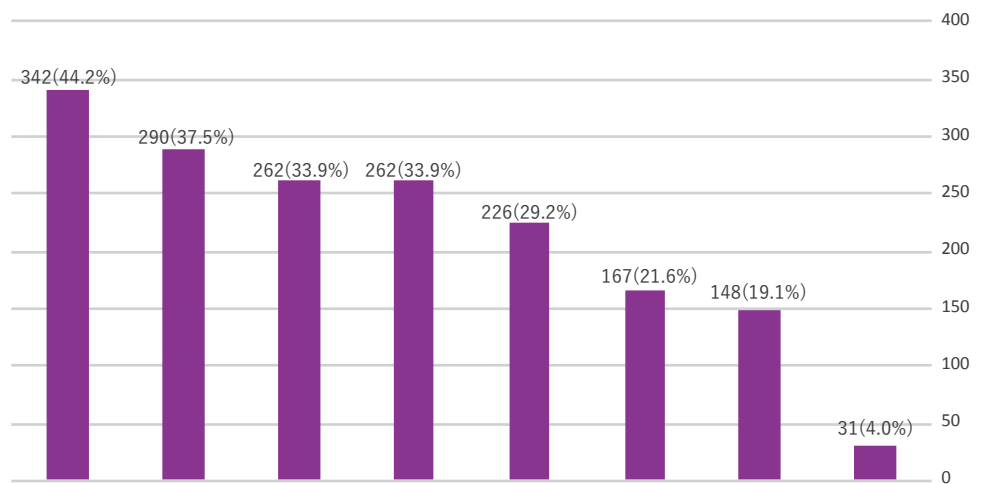
2-1 日本のイメージ

日本のイメージについては「豊かな伝統・文化を持つ国」が最多で44.2%、「技術力のある国(37.5%)」「都市の景観が美しい(33.9%)」「経済力のある国(33.9%)」「アニメ・マンガ・ファッションなどの文化が興味深い(29.2%)」が続く。

技術力や経済力の高さを挙げている人が多いのは、ベトナム現地に進出している日系企業の多さなどから印象を受けている可能性がある。

◇日本のイメージ (複数回答可)

回答数：774件



		豊かな伝統・文化を持つ国	技術力のある国	都市の景観が美しい	経済力のある国	アニメ・マンガ・ファッションなどの文化が興味深い	日本の人々が親切/礼儀正しい	交通機関が便利/発達している	その他	
総計	(n=774)	44.2%	37.5%	33.9%	33.9%	29.2%	21.6%	19.1%	4.0%	
性別	男性	(n=270)	39.6%	37.0%	29.3%	32.6%	24.1%	23.0%	19.3%	2.6%
	女性	(n=491)	47.3%	38.7%	37.3%	35.2%	32.4%	21.2%	19.3%	3.5%
	その他	(n=13)	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	7.7%	53.8%
在籍学校種別	大学	(n=172)	65.1%	60.5%	52.3%	47.7%	51.7%	26.7%	20.9%	0.6%
	短期大学	(n=10)	40.0%	20.0%	30.0%	40.0%	30.0%	40.0%	30.0%	0.0%
	高等学校	(n=575)	37.9%	31.5%	27.8%	29.4%	22.3%	19.8%	18.4%	4.9%
	日本語学校	(n=13)	46.2%	15.4%	53.8%	53.8%	38.5%	23.1%	23.1%	0.0%
	その他	(n=4)	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%

2-2 関心がある日本文化

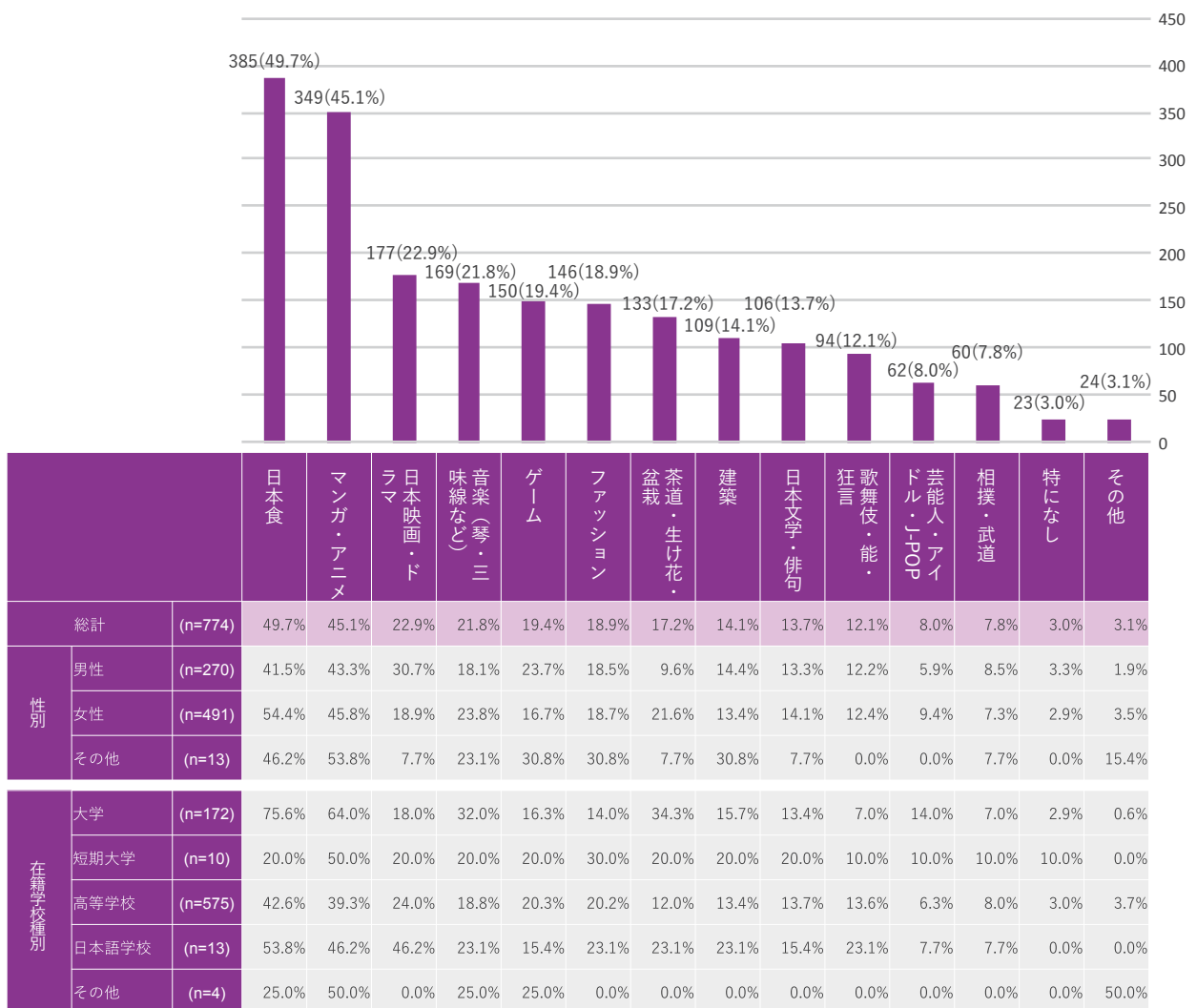
関心がある日本の文化については「日本食(49.7%)」「マンガ・アニメ(45.1%)」が半数近くを占め、「日本映画・ドラマ(22.9%)」「音楽(琴・三味線など)(21.8%)」と続いた。

日本食に関心を持っているのは女性が54.4%と半数以上となり、音楽(琴・三味線など)、茶道・生け花・盆栽などの日本の伝統文化への関心も女性の方が高い。一方で男性は日本映画・ドラマ・ゲームなど、日本のポップカルチャーに関心を持つ傾向が女性より高い印象。

また、大学生の「日本食」への関心は75.6%と他より高くなっている。

◇関心がある日本文化(複数回答可)

回答数：774件



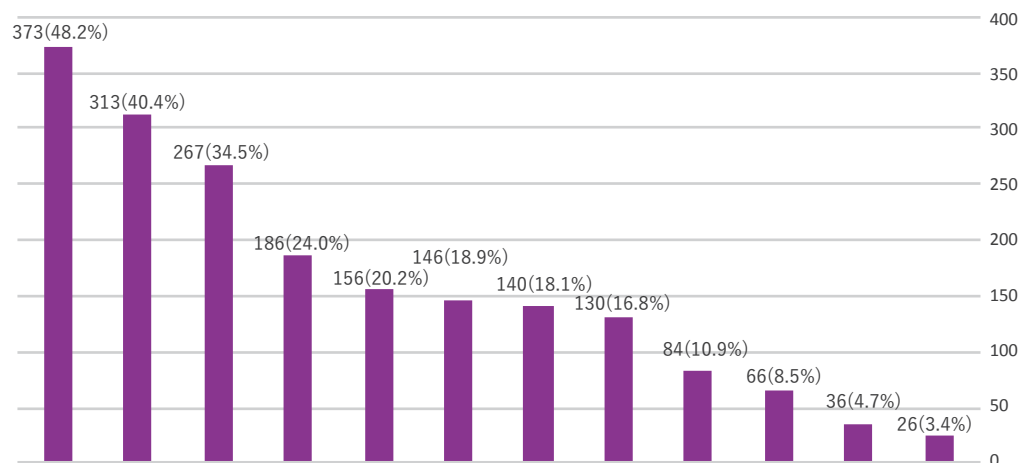
2-3 日本についての情報収集手段

日本についての情報収集手段は「YouTube」が最多で48.2%、「Facebook(40.4%)」「WEBで検索(34.5%)」が続き、「学校の先生に聞く(24.0%)」「ベトナムの友人・知人に聞く(18.9%)」と比較し、ソーシャルメディアを用いた情報収集が高くなっているといえる。

在籍学校種別にみると、大学生は「YouTube(78.5%)」「Facebook(62.8%)」「WEBで検索(55.8%)」が圧倒的に多く、次いで「学校の先生に聞く(45.9%)」となっている。高校生もこれら傾向が強い。

◇日本のことをどうやって調べていますか?(複数回答可)

回答数：774件



			YouTube	Facebook	WEBで検索	学校の先生に聞く	Instagram	ベトナムの友人・知人に聞く	その他SNS	Twitter	日本人の友人・知人に聞く	ガイドブック・雑誌を読む	特に調べていない	その他
性別	総計	(n=774)	48.2%	40.4%	34.5%	24.0%	20.2%	18.9%	18.1%	16.8%	10.9%	8.5%	4.7%	3.4%
	男性	(n=270)	41.5%	34.4%	30.4%	21.1%	16.3%	18.5%	20.0%	19.3%	12.2%	7.4%	4.8%	2.2%
	女性	(n=491)	52.1%	44.0%	37.1%	25.9%	22.6%	19.1%	16.9%	15.5%	10.4%	9.4%	4.5%	3.5%
	その他	(n=13)	38.5%	30.8%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	23.1%
在籍学校種別	大学	(n=172)	78.5%	62.8%	55.8%	45.9%	25.6%	23.8%	15.7%	15.1%	12.8%	14.5%	1.2%	1.2%
	短期大学	(n=10)	30.0%	30.0%	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	高等学校	(n=575)	39.1%	34.6%	28.5%	17.7%	18.4%	17.6%	19.0%	17.4%	10.1%	6.6%	5.7%	3.8%
	日本語学校	(n=13)	61.5%	23.1%	38.5%	7.7%	23.1%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	23.1%	0.0%	0.0%
	その他	(n=4)	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%

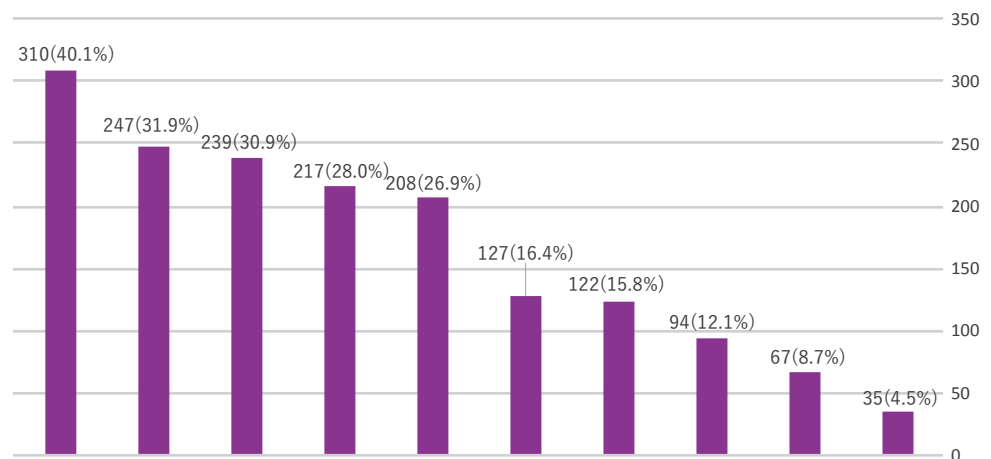
3-1 進路についての情報収集手段

進学先などの進路情報の収集手段については「WEBサイト」が40.1%と最も多く、次いで「YouTube(31.9%)」、「学校の先生に聞く(30.9%)」「Facebook(28.0%)」「友人・知人に聞く(26.9%)」が多かった。

全体的には、進路検討においてもSNSを活用して情報収集していることがわかるが、一方、大学生は「学校の先生に聞く(66.3%)」や「友人・知人に聞く(49.4%)」など口コミを活用する割合が他より高くなっている。学校情報など、限定的な情報収集は依然周囲の人からの情報を得る印象がある。

◇進学先などの進路の情報をどうやって調べていますか?(複数回答可)

回答数：774件



		WEBサイト	YouTube	学校の先生に聞く	Facebook	友人・知人に聞く	Instagram	その他SNS	Twitter	ガイドブック・雑誌	その他
性別	総計 (n=774)	40.1%	31.9%	30.9%	28.0%	26.9%	16.4%	15.8%	12.1%	8.7%	4.5%
	男性 (n=270)	34.4%	29.6%	23.0%	25.9%	20.4%	19.3%	18.5%	14.8%	5.2%	3.7%
	女性 (n=491)	43.2%	33.6%	36.0%	29.5%	31.0%	14.9%	14.7%	10.8%	10.8%	4.3%
	その他 (n=13)	38.5%	15.4%	0.0%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	30.8%
在籍学校種別	大学 (n=172)	55.2%	44.8%	66.3%	34.9%	49.4%	8.7%	12.2%	8.1%	19.8%	1.2%
	短期大学 (n=10)	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	高等学校 (n=575)	35.7%	28.3%	20.9%	26.1%	20.0%	18.6%	16.0%	13.0%	5.4%	5.4%
	日本語学校 (n=13)	30.8%	30.8%	23.1%	38.5%	30.8%	30.8%	46.2%	15.4%	15.4%	0.0%
	その他 (n=4)	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

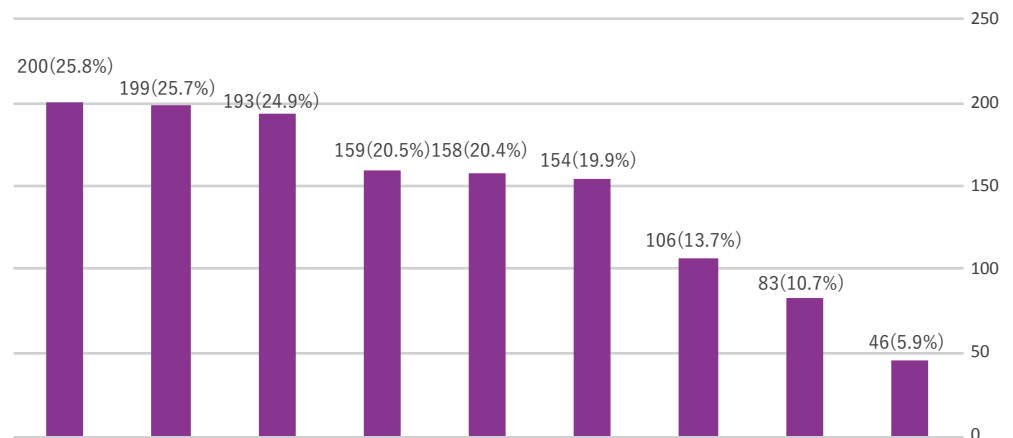
3-2 将来の希望

将来働きたい分野をたずねたところ、「経理・簿記/旅行・観光・ホテル/会計/経営/医療秘書/流通ビジネス/OAビジネス/福祉ビジネス など(25.8%)」「デザイン/インテリアデザイン/音楽/外国語/演劇・映画/写真/通訳・ガイド/公務員/社会体育/トリマー/放送芸術 など(25.7%)」「情報処理/マルチメディア/自動車整備/土木/建築/電気・電子工学/情報工学 など(24.9%)」が希望として多い傾向にある。

大学生に最も人気なのは「デザイン/インテリアデザイン/音楽/外国語/演劇・映画/写真/通訳・ガイド/公務員/社会体育/トリマー/放送芸術 など(57.0%)」、高校生では「情報処理/マルチメディア/自動車整備/土木/建築/電気・電子工学/情報工学 など(25.6%)」となっている。

◇将来働きたい分野はどれですか(複数回答可)

回答数：774件



性別	性別	総計	将来働きたい分野										
			経理・簿記/旅行・観光・ホテル/会計/経営/医療秘書/流通ビジネス/OAビジネス/福祉ビジネス など	デザイン/インテリアデザイン/音楽/外国語/演劇・映画/写真/通訳・ガイド/公務員/社会体育/トリマー/放送芸術 など	情報処理/マルチメディア/自動車整備/土木/建築/電気・電子工学/情報工学 など	看護/歯科衛生/歯科技工/臨床検査/診療放射線/理学療法/作業療法/言語聴覚療法/はり・きゅう・あんま/マッサージ/指圧/柔道整復 など	農業/園芸/畜産/造園/バイオテクノロジー/ロジャー/フラワービジネス/生命工学技術/動物管理 など	栄養/調理師/製菓/製パン/美容/エステ/メイク など	ファッションデザイン/ファッションビジネス/アパレル/ファッションデザイン/和洋裁/編物・手芸/スタイリスト など	福祉/介護福祉/老人福祉/精神保健福祉 など	保育/幼児教育/社会福祉/医療	その他	
総計	(n=774)	25.8%	25.7%	24.9%	20.5%	20.4%	19.9%	13.7%	10.7%	5.9%			
性別	男性	(n=270)	20.7%	15.9%	24.8%	23.3%	22.6%	18.1%	10.7%	9.6%	3.7%		
	女性	(n=491)	28.5%	31.2%	25.3%	19.3%	19.6%	21.4%	15.3%	11.6%	6.5%		
	その他	(n=13)	30.8%	23.1%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	30.8%		
在籍学校種別	大学	(n=172)	46.5%	57.0%	21.5%	14.0%	14.5%	34.9%	20.3%	11.6%	5.2%		
	短期大学	(n=10)	20.0%	10.0%	50.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%		
	高等学校	(n=575)	20.0%	16.3%	25.6%	22.8%	21.7%	15.7%	11.3%	10.1%	6.1%		
	日本語学校	(n=13)	23.1%	38.5%	23.1%	15.4%	30.8%	15.4%	15.4%	23.1%	0.0%		
	その他	(n=4)	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		

3 本調査

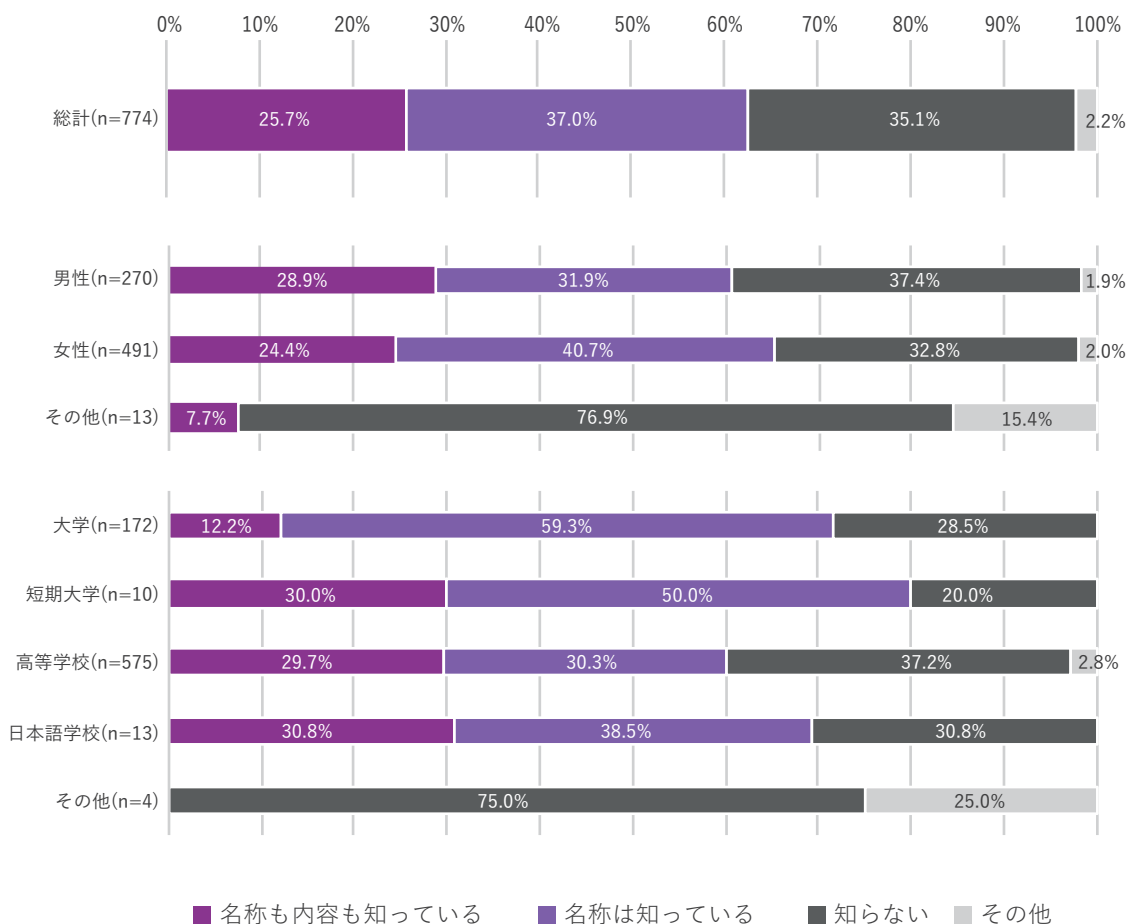
3-3 専門学校への認知度

日本の「専門学校 (professional training college)」の認知度（「名称も内容も知っている」と「名称は知っている」の合算）は、合わせて62.7%であり、「知らない」と回答した人は35.1%という結果になった。

大学生では「名称は知っている」割合は59.3%と高いものの、内容まで知っている人は少なかった。高校生は内容まで知っている人の割合は大学生に比べ高い29.7%であるものの、合計の認知率では大学生より10%以低かった。大学生には専門学校のより具体的な理解の促進、高校生には更に認知を広めていくなど、在籍校に合わせたアプローチが今後の課題といえるだろう。

◇日本の「専門学校 (professional training college)」を知ってますか？

回答数：774件



4-1 日本の学校に期待する情報やサポート

◇日本の学校に期待する情報やサポートなどを、自由に書いてください。

回答数：27件

- 日本へ留学できる機会を増やしてほしいです
- 日本の学校が学費を削減し、留学生が日本で勉強して成長するためのサポートを充実してほしいです
- もっとベトナム人学生を勉強する環境と仕事チャンスをもらいたいです
- 専門学校がITコミュニケーターなどのIT科目を教えてほしいです
- たくさんのお奨学金を増やしてほしいです
- 留学生のためのアルバイトをもっとサポートしてほしいです
- 日本語を勉強する学生に対して日本での就職をサポートしてほしいです
- このような有意義なプログラムを作成していただき、誠にありがとうございます先生方が日本留学や日本での就職情報について共有できることを楽しみにしています
- オンライン授業の時間帯をぎりぎり知っていましたから、すべて参加できなかった。今後もっと事前に伝えてほしいです
- 日本語の教授法は、豊かで、多様で、より理解しやすく改善する必要があります特に生徒の進歩のことに注意を払う必要があります

- Em muốn đến Nhật để du học và làm việc ạ.
(私は勉強と仕事のために日本に行きたいです。)
- Dạ em chỉ hy vọng các trường học ở Nhật Bản có thể giảm chi phí cho du học sinh và tạo điều kiện cho du học sinh được học và phát triển ở Nhật ạ. Em cảm ơn.
(はい、日本の学校が留学生の費用を削減し、留学生が日本で勉強して成長するための条件を整えてくれることを願っています。ありがとうございます。)
- Em mong muốn các trường Senmon có đào tạo ngành nghề liên quan đến CNTT, cụ thể hơn là It-comtor
(専門学校にIT関連の職業訓練、具体的にはIt-comtorがあるといいのですが。)
- Tạo nhiều điều kiện để sinh viên Việt Nam có cơ hội sang Nhật học tập và làm việc trong những năm tới ạ.
(今後数年間で、ベトナムの学生が日本で勉強し、働く機会を持つためのより多くの条件を作ります。)
- chúng em muốn được biết thêm các cơ hội việc làm cho sinh viên ngôn ngữ nhật không chỉ ở nhật bản, việt nam và còn nhiều nơi khác nữa
(日本だけでなく、ベトナムや他の多くの場所での日本語学生のためのより多くの仕事の機会を知りたい。)
- Em mong sẽ có nhiều học bổng hơn để có nhiều cơ hội đi du học Nhật hơn ạ
(日本で勉強する機会が増えるように、奨学金がもっと増えることを願っています)
- Hi vọng có các chế độ quan tâm đến việc làm thêm của du học sinh
(留学生のアルバイトに関心のある制度があることを願っています)
- Cần thêm nhiều chương trình học bổng
(より多くの奨学金プログラムが必要)
- Do mình mới được bạn bè giới thiệu lần đầu nên chưa biết nhiều về khoá học này. Nếu có cơ hội mình sẽ tiếp tục tham gia.
(初めて友達に紹介されたので、このコースのことはよくわかりません。機会があれば、引き続き参加させていただきます。)
- Thời gian bắt đầu và kết thúc các lớp học miễn phí
(フリークラスの開始時間と終了時間)
- Em rất cảm ơn các thầy cô đã thực hiện một chương trình rất ý nghĩa như thế này. Chúng em rất mong được các thầy cô chia sẻ về những hoạt động học và làm bên Nhật Bản
(このような有意義なプログラムを有意義なものにしてくれた先生方に感謝したいと思います。先生方が日本での学習や就労活動について共有できることを楽しみにしています)
- Mong rằng sẽ càng có nhiều chương trình học bổng hỗ trợ cho du học sinh nước ngoài
(外国人留学生を支援する奨学金制度が増えることを願っています)
- Mong rằng sẽ có nhiều cơ hội để giao lưu trực tiếp, kết nối với các trường ở Nhật Bản.
(日本の学校と直接交流する機会がたくさんあることを願っています。)
- cách giảng dạy tiếng Nhật cần phong phú, đa dạng, dễ hiểu hơn. và đặc biệt nên quan tâm theo sát tiến trình và chất lượng của học viên.
(日本語の教授法は、より豊かで、より多様で、より理解しやすくする必要があります。特に生徒の進歩と質に細心の注意を払う必要があります。)
- Suki
(スキ)
- Trường việt nhật, k hoàn toàn là 100% hs sẽ học tiếng nhật, chỉ có 1 phần nhỏ chiếm 30%. Ac chọn nhầm trg r
(ベトナム学校では、生徒の100%が日本語を学びますが、30%を占めるのはごく一部です。Acは間違ったページを選択しました)
- Du học hạnh phúc
(楽しい留学)

(注釈:「なし」の項目は削除、表記は原文ママ、外国語には翻訳を追加)

令和4年度文部科学省委託事業

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

留学生に関する実態把握アンケート調査報告書

[海外教育機関在籍学生対象]

発行日 2023年2月 第1版

受託 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

編集 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
(データ集計・分析 株式会社アクセスネクステージ)

住所 〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20 大阪私学会館1F

TEL 06-6352-0048 FAX 06-6352-7553

大専各サイト <https://daisenkaku.or.jp>

大専各留学生支援サイト <https://study-osaka.com>